

庄内協同ファームだより

No.171 2018年3月号



発行/
〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338
tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140
<http://www.shonaifarm.com>



昨年度は、数々の台風が近くを通過していききましたが、幸運にも山形・庄内平野を避けてくれて奥羽山脈・出羽三山に守られていると実感しています。秋の長雨により刈取りが1週間ほど遅れましたが高品質のおいしいお米を作ることが出来ました。天の恵みに感謝したいと思います。今年も田んぼは春に備えて、厚い雪の布団を掛けエネルギーを蓄えています。しかし私のエネルギーがいつまで続くか…高性能の蓄電池が必要そうです。

農業生産と環境保護を両立させる農業技術としての『夏水たんぼ』に注目し8年目を迎えました。転作田の菜の花・麦収穫後6月末に代掻きをして、60日間水を張り水田状態を維持すると、水温が上昇し水生生物が急激に発生します。えさを求めて夏の渡り鳥が飛来します。絶滅危惧種2類タカアシシギ・タカブシギ等が飛来します。昨年度は19種類のシギ・チドリが飛来しました。夏の渡り鳥の休憩地となっています。また、猛禽類(チョウゲンボウ・ハヤブサ・オオタカ等)

も確認され食物連鎖の世界がたんぼに現れています。転作田を一時的に水田状態にすることで、菜の花・麦の連作障害対策にもなります。この水田のゆたかさを伝えてゆきたいと思っています。

昨年春、森友・加計学園問題で政界が混乱している中、どさくさに紛れほとんど審議なしで「種子法」が廃止になりました。種子法とは、国が関与して米・麦・大豆の種子を守り育てるという法律で、その廃止により、安全な種子を維持するよりどころをなくしました。

これは、規制改革の推進会議の提言をうけ、種子生産・販売を民間に開放するというものです。同時にあらたな法案では、民間事業が行う技術開発及び新品種の育成のために、試験研究機関及び都道府県が持っている種苗の生産に関する知的財産を、民間業者への供給を促進すると謳われています。遺伝子組み換え作物を開発している外国資本に対しても、種子の譲渡を認めることになります。日本人の主食であるお米でも、遺伝子組み換えを行える道を大きく開いたのです。

除草剤が効かない(生産者側では労力節減の意味で魅力があります)・病気にかからない遺伝子組換え作物があります。安全性は確認されていません。ある国では、遺伝子組み換え作物を10数年使用することで、除草剤に耐性がある雑草が出現し、かえって除草剤使用量の増加を招き又、組み換え作物を食べ続けた家畜の異変等が表われています。さらにこの国では、遺伝子組み換え作物であっても食品に表示が不要なのです。

次の段階は、日本でも商品表示の改正・改悪をし、消費者の選ぶ自由を奪うことでしょう。日本人の食の基本はお米です。私は、安全・安心なお米を皆さんに食べていただきたいのです。生産者は組み換え作物は作らない、消費者は食べないが必要です。これ以外にも世の中が不穏に動いているように感じます。

食べてくださる方と共に注意深く監視していく必要があると思います。

菅原孝明

福島餅つき交流会に 参加して

五十嵐みずほ



1月25日、26日に福島県本宮市で行われた餅つき交流会へ参加してきました。あいコープふくしまさん、森農園さんとの共催で7回目を迎えましたが、今回庄内協同ファームから参加したメンバー8名のうち、私を含めた半分が初めましての顔ぶれとなりました。

初日、あいコープふくしまさんとの前日交流会では、雪の影響で予定より大幅に遅れて到着。それにも関わらず、あたたかく出迎えていただきありがとうございました。

福島の現状報告の中で、避難が長引く中、様々な理由で離ればなれになる人が多いというのが印象深かった話です。仮設住宅から別の仮設住宅や復興公営住宅へ移る人。もっと遠く、他県へ移る人。そしてそのような離ればなれが、家族の中で起こる人…。元の生活に戻ることが簡単ではない中で、それぞれが考え出した結論を前に、寂しさをとるか前向きに捉えるか。話を聞いて、今なお避難している方々が向き合う現実の大変さを知りました。

餅つき交流会当日は、最高気温がマイナスの中での開催となりました。持ち込んだ食材が凍るような状況でしたが、

餅つきが始まる頃には住民の方々も顔を出してくれるようになり、最終的には30名ほどの方に参加していただきました。

お餅は、だし醤油ベースの庄内風雑煮・きなこ餅・あんこ餅にし、また森農園さんからはニラや小松菜などの野菜のしゃぶしゃぶが振る舞われました。気に入って何度もおかわりをしてくださる方やおいしいと言ってくれる子どもたちを見ると、交流会へ参加して良かったという思いと、会の運営に関わる方々の仮設避難を続ける方へ寄り添うあたたかさを感じました。

その一方で、自治会長さんが挨拶の中でおっしゃられた「浪江町に帰れるようになるまで17年。この仮設にいる人でも、生きてるうちに帰れない人も出てくるだろう」という言葉も忘れてはならないと思いました。

今回は、とくに寒さの厳しい中、交流会に参加していただきありがとうございました。次は夏のあつつい庄内浜でお会いしましょう。

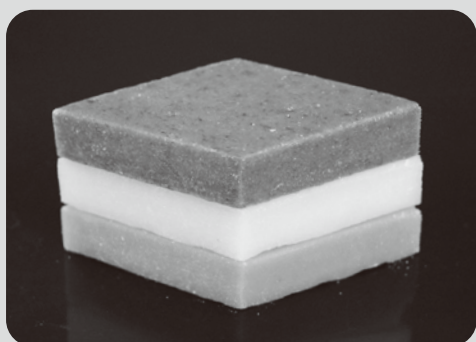


商品紹介

ひしもち



ひなまつりの時期がやってまいりました。女の子がいる家ではこの時期にひな人形を飾りお祝いをします。今回はそのひなまつりにひな人形と飾られる伝統的な食べ物「ひしもち」をご紹介します。桃、白、緑三色を使って表現した庄内協同ファームの数ある商品の中でも色鮮やかな商品のひとつです。それぞれ、生命（桃）・雪の大地（白）・木々の芽吹き（緑）を表しており、これを食べることで自然のエネルギーを授かり、健やかに成長できるという意味があります。ひしもちの原料は農薬が慣行基準の7割減



で、化学肥料を使用していない山形県産「でわのもち」を使用しており、緑色の部分は山形県内で採れた自生のよもぎ、桃色の部分には紅麹色素を使用してそれぞれを鮮や

かに演出しています。

ひなまつりで飾った後は、食べやすい大きさに切って焼いたり、お汁粉やあられ等、好みの食べ方でご賞味ください。ひなまつりには、庄内協同ファームのひしもちをお雛さまと一緒に飾っていただけるとありがたいです。ぜひ、宜しく願います。

本間美佳

三色ぼんちゃん



日頃よりポン菓子をご利用頂きましてありがとうございます。今回はひな祭りにちなんだ「三

色ぼんちゃん」をご紹介します。

使用しているポン菓子（ぼんちゃん）は合鴨農法のお米を膨らませ、グラニュー糖を蜜掛けして乾燥させた逸品です。色は従来のぼんちゃんをベースにした白色、紅麹色素を使用した桃色、山形県産のモロヘイヤ粉を使用した緑で演出しています。「桃の節句」は女の子の成長を願い邪気を払う日本古来の節句として現代にまで受け継がれています。彩り豊かな庄内協同ファームの三色ぼんちゃんを女の子の節句を祝うの

皆川裕一

庄内 おかあさんの ～おいしい台所～

小さなお子様からお年寄りまでみんな大好きなデザート。作ってみると意外と簡単!!

～ババロア～

(材料) ゼラチン(15g)、水(150cc)、牛乳(400cc)、生クリーム(200cc)、砂糖(80g～100g)、卵黄(2個)

(作り方)

1. ゼラチンを水に入れてふやかしておく
2. 牛乳と砂糖、卵黄を混ぜ合わせ、火にかけて、1のゼラチンも加え、泡立て器でかき混ぜる
3. 氷水を入れたボールに2の液を混ぜ、とろみを出しておく
4. 3にホイップした生クリームを混ぜてそのまま少しかき混ぜる
5. 最後にバニラエッセンスを加え、容器に流す
6. 出来上がったババロアに季節の果物やラズベリーソース、ホイップクリーム等で飾る



富樫裕子

ペンリレー 徒然草

工藤 祐生



無趣味な私が、

第三者から趣味

は何かと聞かれた

際に、返答に困っ

てしまいます。大

抵の人は自分が

休日は何をしているのかを思い出せばす

ぐに答えられることかもしれませんが、そ

もそも休み自体が存在しない職(という

より休みがなくなるように仕事配分して

いるせいもありますが)だし、次の仕事に

備えて体力回復を図るために疲れ切って

寝てるか、激務で体調崩して寝てるかのど

ちらかなので(;<)

昔はスキーが趣味であつたといえるけど

何時の頃からか行かなくなつてもう10年

近く経つてるし、もうスキー板は錆びついて

クモの巣が張つてある状態だし、今では趣

味とは呼べないなあ。婚活は一時期趣味

が婚活つて言えてしまうくらい全ての持て

る時間を費やした。今思うと楽しんでい

たというよりは義務感・焦燥感・世間に煽

られて何かに駆られてやつていたので、どち



らかという仕事でやつていたと言つた方

がしつくりきます。何の成果もあげられ

なかつたですが(笑)。ではもう20年近く

続けている煙草は趣味だろうか? いや、

あれは趣味じゃなくて完全にニコチン中毒

ですな。そろそろ止めようかな。止めるべ

きだな。意志薄弱なんで誰か一緒に禁煙し

よう?(;<)

周りの人から見ると私は仕事に興味だ

と思われていることが多いのですが、これ

は趣味じゃありません! 仕事です! (断

言)決して趣味でやつているわけでも無く、

生きるための術だから必死になつてやつて

いるだけです! 端からワーカーホリックと

呼ばれるほど確かに仕事はしてますけど

趣味じゃありません! (念押し!) 仕事が

趣味になれば確かに最高ですが、やっぱり

趣味と仕事は全くの別物ですね! (笑)

あ! そういえば自分にも趣味と呼べる

ものがありました! それは「動物」(;<)

現在、犬、亀、文鳥、ハムスターを飼つており

ます。以前はそれに加えてウサギ、熱帯

魚、金魚、それに有機農法に欠かせない合

鴨農法の主役の鴨君達も飼つていた(;<)

からプチ動物園状態でした。野生動物の

ドキュメンタリーを見るのも好きですし、

ちよこまか動いてる姿をボーと見たり、お

世話して甘えてくるのを愛でているだけ

ですが、彼らといると心がとても癒されま

す。傍から見ると犬・亀はわかるけど良い

歳のおっさんがハムスターと小鳥を飼つて

愛でて居るのは違和感があるかもしれま
せんが(;<)

そう考えるとそもそも趣味とは何だろ

う。生産する趣味もありますがほとんど

大抵の趣味は消費行動以外の何物でもな

いし、「人はパンのみで生きるのにあらず」

「人生は死ぬまでの暇つぶし」って言葉聞い

たことがあるけど人生は仕事だけじゃつ

まらんから楽しもうぜ! ってことなのか

な? とにかく趣味がこれだけでは少し寂

しいので新しい趣味でも探してみようと思

います。

やや祭

(1月15日前後の日曜日開催)



山形県庄内地方のお祭り

庄内町千河原(ちがわら)地区に
伝わる裸祭り。地区の5歳から15歳
までの少年達が、上半身は裸、下半
身にはケンダイと呼ばれる腰褌を
付けて、時折雪の降る中、白装束の
大人2名より水をかけてもらい安産
と子孫繁栄を願う東北の奇祭。

あとがき



今年の冬は関東地方では4年ぶりの大
雪となりました。庄内協同ファームのある
山形県庄内地方もいつもなら雪解けが始
まる立春を過ぎてから大雪傾向となり
寒さも半端なく、ここ数年では一番寒いと
感じる年でした。風も強い日が多く寒さ
と風による地吹雪が多く発生し空は晴れ
ているにもかかわらず、目の前が見えなく
なり車の運転がとて大変でした。

正月に埼玉で暮らす次男が友達を連
れて帰省してきました。その友達は山形
に初めて来たと言う事でした。雪は見た
ことはあるけれどこんなに沢山の雪を見
たのは初めてで感激していましたし、私達
にとっては自然で普通に居る白鳥も初め
て見た時は「白鷺ではないの?」って言っ
て信じてはもらえませんでした。が車で移動
の時に道路の両脇に白鳥がいるのを見
ると感動していました。私達にとっては何気
ない日常でも見る人が違えば感動に代わ
るんだなあと感じました。

3月と言えば卒業、入学、就職シーズン
でいろいろな出会いと旅立ちがあります。
皆さんはどうでしょう? 私の場合子供
達は全員就職したからと言っても特段
何もないのですが、それでも近くにある小
学校や幼稚園の卒業式、入学式に楽しそ
うに向かう親子連れを見るとなんとも微
笑ましく他人事なのに涙腺が緩んでしま
います。前はなかったのですが、つくづく歳
なんだなあと感じます(笑)

寄る年波を感じつつ今年も農業を楽し
みたいと思います。
(銀)